

会長便り

創立100周年記念事業 ～募金活動の現状～

菊 地 芳 朗 (GS34)



今回も、最初に悲しいことを申さなければなりません。

本会の顧問で元会長の秋山元雄さんが去る6月19日ご逝去されました。秋山さんは北光会・鉱業博物館は勿論のこと、特に関西支部を始めとして西日本の北光会の発展に

多大な貢献をなされました。

北光会の総会がありました同じ日にお亡くなりになりました。何かのご縁でありましょうか。

葬儀に参列いたしまして、秋山さん、そしてご家族の皆さんの北光会に対する思いやりを深く感じました。

運んで哀悼の意を表しますとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

さて、北光会ですが、去る6月19日総会を行いました(総会の内容につきましては、本号の「第59回通常総会報告」ご覧下さい)。

総会のなかで、最大の関心事は創立100周年記念の募金であります。先ず最初に多くの皆様からご芳志を賜りましたことについてお礼申し上げます。

6月30日現在：3,663名(件)(分割444名を入れると4,107名) 総額1億5,985万円です。ここにきて漸く目標額3億円の半分以上を超えました。

内訳を見ますと

企 業	156社	4,543万円
篤 志 家	12名	137万円
教 職 員	139名	899万円
学部後援会	10回	2,308万円
北 光 会	3,346名	8,098万円

となっております。

北光会の目標額は1億円で、8割を超えましたが、尚一層のご支援をお願いいたします。

募金が未だ低調な原因を見ますと、その一つに企業と教職員があります。

企業募金につきましては「会長便り」で幾度も申しております。確かに今日の経済状況のこともありますが、企業に十分なお問い合わせを行っていないことにあります。この度の総会で北光会も企業募金に

一段の力を入れるよう各支部にお願いしたところであります。しかし、学部の行事である以上、先生方が率先して企業訪問を行うことも必要と思います。総会前日に行われました学内の募金委員会で西田研究科長(学部長)から企業訪問について約束を頂きました。これで進展するものと期待しております。

一方、教職員ですが、本号の「募金のご協力依頼」の「創立100周年記念事業寄付金納入状況(創立75周年記念の集計方法に準ずる)」をご覧下さい。上段の北光会員の教職員は学部を卒業された方々で、納入率は77.78%であります。

下段の教職員は卒業されていない方で、納入率は31.59%であります。現職の教員を見ますと卒業の有無に関わらず未納の方がおられます。学部の行事でありますので、宜しくお願いいたします。

総会の席上「企業や教職員に問題のあることは、現職の先生方が100周年事業に燃えていないからである」との意見のあったことを申し添えておきます。

北光会員を見ますと、各専攻長(学科長)の先生から全ての卒業生へ依頼状を送って頂きました。

その結果、6月は301名の会員の皆様から611万円のご寄付を頂きました。協力して頂きました専攻長の先生方にお礼申し上げます。

募金期間も残すところ1年数ヶ月となりました。皆様のご協力を重ねてお願いいたします。

北光会自体の課題としては、永年のテーマでもあります会の活性化と会費納入率の向上があります。

活性化につきましては若年層、特に平成年度卒業生のことですが、最近各支部総会に平成年度卒業生の出席が多くなってきております。例えば、北海道では4名、東海北陸14名、九州5名、関西5名の出席がありました。総会では2名おられました。若年層の開催は会費の納入率向上につながるものと考えております。

会費納入率は、コンビニでの振込のためか21年度の27.7%に対し22年度は30.2%となっております。北光会の100周年目標額1億円の設定は会費納入率30%を基礎に見積もっております。会費納入率の向上は、100周年募金の向上に関連するものと期待しております。

北光会は皆様の会費で維持されております。

会費納入率の向上にご協力下さい。